

LOVドメイン

～生物界に広く見られる
ユニークな青色光受容センサーモジュール～

2009年12月3日(木)

16時30分～17時30分(開場16時)

京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール (京都市左京区)

定員200名
参加費無料



第25回国際生物学賞受賞者
ウインスロー・ラッセル・ブリッグス博士

カーネギー研究所植物生物学部門 名誉部門長
スタンフォード大学生物学教室 名誉教授

今回の授賞対象は「感覚の生物学」であり、ブリッグス博士は50年以上変わることなく、植物が季節変化や環境状況を関知するために最も重要な手段として利用している光情報に対する植物の応答機構を研究してこられました。特に、チャールズ・ダーウィン以来、植物科学の主要な研究課題となった光屈性反応に関して、ブレイクスルーとなる幾つかの重要な発見を行いました。その中でも、植物が光の方向を認識するための光受容タンパク質であるフォトトロピンの発見は、植物のみならず生物全般の光反応研究に多大な貢献をするものです。本講演では、これまでの研究業績に加え、最新の研究成果も含めて易しく紹介をしていただきます。

オーガナイザー：七田芳則 (京都大学), 和田正三 (九州大学), 長谷あきら (京都大学)

主催：日本学術振興会 (JSPS)

連絡先：第25回国際生物学賞記念シンポジウム事務局 Tel 075-753-4242, Fax 075-753-4210

国際生物学賞記念シンポジウムURL：<http://photo1.biophys.kyoto-u.ac.jp/ipb/ipb.html>